

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名【新】国立博物館収蔵品貸与促進事業広報事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

岐阜県美術館 総務部 管理調整係 電話番号：058-271-1313

E-mail：c21801@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 694 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	694	694	0	0	0	0	0	0	0
決定額	694	694	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和6年度特別展「国民文化祭開催記念展1 皇居三の丸尚蔵館特別協力 PARALLEL MODE:山本芳翠が生きた時代」(仮称。以下、「山本芳翠展」という。)開催にあたり、展覧会の充実を図るため、国立博物館収蔵品貸与促進事業(以下、「貸与促進事業」という。)を活用し、東京国立博物館収蔵品を借用する。

本事業は、国立博物館収蔵品の貸与に伴い、貸与促進事業の主体である国立文化財機構文化財活用センターが、貸与促進事業をPRするために、対象となる展覧会を広く広報するものである。広報する内容及び媒体等は、国立文化財機構文化財活用センターが決定し、美術館がその業務を執行する。その費用は、広報業務終了後に、国立文化財機構文化財活用センターから美術館に事業費として支給される。

(2) 事業内容

国立博物館収蔵品貸与促進事業費を活用し、貸与促進事業の広報と併せて山本芳翠展のPRを行う。観光情報などを発信するモバイルアプリへの広告表示(オンライン)と、雑誌紙面(全国の美術愛好家の多くが手にする美術雑誌等)への広告掲載(オフライン)などを組み合わせることより、地域及び全国への幅広い周知を行い、来館を促進する。

(3) 県負担・補助率の考え方

令和6年度国立博物館収蔵品貸与促進事業広報費 694千円 国10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	694	貸与促進事業の広報
合計	694	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

令和6年度特別展「国民文化祭開催記念展1 皇居三の丸尚蔵館特別協力 PARALLEL MODE:山本芳翠が生きた時代」(仮称)で利用する「令和6年度国立博物館収蔵品貸与促進事業」の広報として、単独事業である。

(2) 国・他県の状況

他県で行われた貸与促進事業対象展覧会では、本協力を得て広報を幅広く展開し、県内外へのPRに活かしている。佐賀県立美術館が令和3年度(「白馬、翔びたつー黒田清輝と岡田三郎助ー」)に活用している。

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

県が事業主体となることが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

SNSによる広告を、国民文化祭の開催時期に合わせて実施する。県内ならびに東海エリアへの年齢層や興味のある分野などに絞り込んだターゲティング広告と、Facebook・Instagramなどオンラインによる広告を行う。これにより国立博物館収蔵品貸与促進事業の広報と併せて、国民文化祭の事業として行う山本芳翠展への来館者数増を見込む。

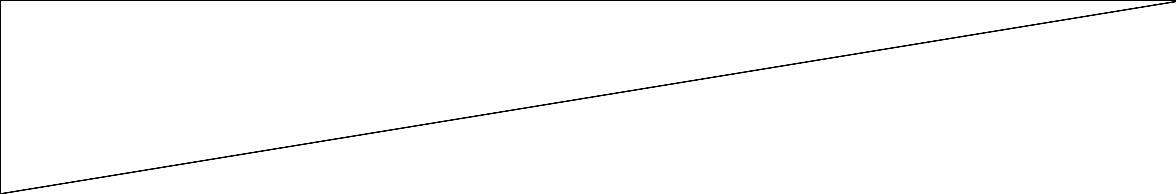
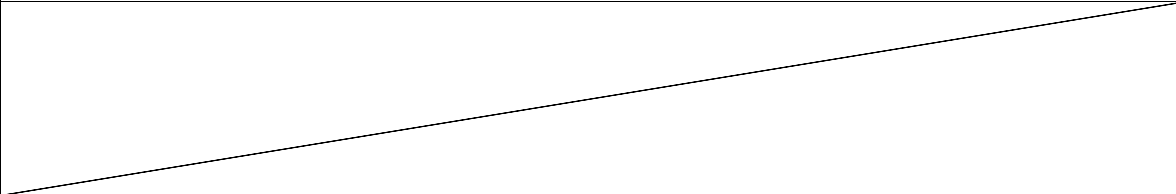
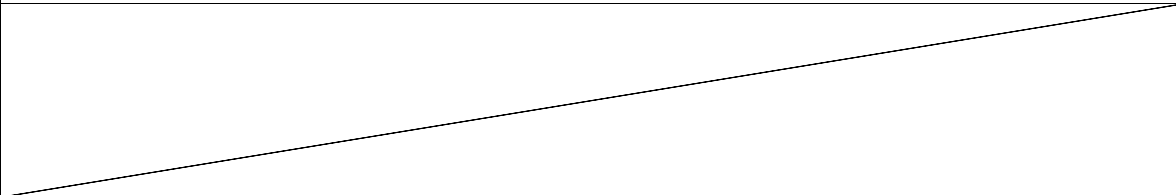
（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

国立博物館収蔵品貸与促進事業PR費活用による単年度予算のため

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	 <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 SNS 広告などオンラインによる新たな広報手段を活用した広報は、県内のみならず東海広域へも有効であり、結果を踏まえて、今後検討していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	